

街歩きヒストリア



左上：昔（「稲荷町電車専用橋」1945年頃、米国戦略爆撃調査団撮影／米国国立公文書館所蔵）と右下：今（2021年）の稲荷大橋を比較！



稲荷大橋

幟町

中区銀山町方面と南区稲荷町を結び、京橋川に架かる稲荷大橋。全長86.6m、幅23mの電車併用橋です。橋西詰めの京橋川右岸一帯には古くから残る雁木が多くあり、両岸には水辺のオープンカフェも。橋の上からは比治山も見え、川辺の緑が目を楽しませてくれます。

1912年(大正元年)11月の架橋当時は、電車専用橋。稲荷橋鉄橋と呼ばれていました。1945年(昭和20年)の原爆投下で被爆しましたが落橋はせず、それから5年後に日本では戦後初の電車併用橋として現在のものに架け替えられています。

戦前戦後の広島を見守り、原爆被災からの復興を支えてきた橋です。

(文、写真・河野宏志さん)

中央公民館エリア（白島、基町、幟町）の街の魅力を歴史とともに紹介するコラム「街歩きヒストリア」。公募で集まった制作スタッフが編集します。

